

◎一般的な注意事項

【共通事項】

1. 競技中のマスクの着用は不要ですが、必要な方は着用してください。
 2. 課題1のカーペット床清掃終了後にカーペットを取り除き、課題2の弾性床の課題に入ります。
 3. 2課題とも、時間が定められています。
- 【課題1：7分 / 課題2：10分】
- 所要時間が経過しましたら、競技専門委員がお知らせします。
4. 所要時間を2分過ぎた場合は競技専門委員の判断で作業を打ち切ることがあります（課題1、2とも）。
 5. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
 6. 競技は、作業準備、作業動作（手順）、使用誤り、作業態度、作業時間の5面から審査し、採点を行います。
 7. 作業面は2面で、同時に同一作業を行います。競技は公開とします。
 8. 作業に適した服装をしてください。
 9. 作業開始の指示は、競技専門委員が行います。
 10. 作業ごとに入退室を行う際には会釈（軽く挨拶や礼）をしてください。
 11. 「始めます」「終わりました」の申告と、入退室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は、競技中に声を出さないでください。なお、「終わりました」の申告がないとストップウォッチは止まりませんので、必ず「終わりました」と申告してください。

◎課題1：カーペット床清掃

1. 作業面積は16㎡（4m×4m）とし、幅木により区画します。
2. カーペット床の吸塵作業です。
3. 床のゴミは、シュレッダーで裁断したもので50ml程度まいたものとします。
4. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
5. 作業場所にある机は、移動させないでください。
6. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎課題2：弾性床清掃及び机上清掃

1. 作業面積は16㎡（4m×4m）とし、幅木により区画します。
2. 床材質は塩化ビニル系の長尺シートの床面とします。
3. ゴミ処理・床面の掃き・拭き作業及びタオルによる机上拭きの作業です。
4. 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、作業用カートにのせてあるものを点検してください。
5. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調節してください。
6. 乾式モップ用クロスは競技者が作業前に取り付けて点検してください。
7. 床のゴミは「おがくず」とし、50ml程度をまいたものとします。
8. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
9. 作業場所にある机は移動させないでください。
10. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

課題１ カーペット床清掃

時間： 7 分

作業仕様

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと) 吸い込み口は事前にホースにセットしてある。	資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、審査員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、競技開始の申し出をする。	「始めます」と片手を挙げ開始の宣言をし、礼をする。	作業開始を申告する。
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードをはずしプラグをコンセントに差込み、始動点検を行う。	吸い込み口に手をあて風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入り口にて室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼、挨拶し、入室する。	声を出して申告する。
除塵 (真空掃除機)	① 真空掃除機を使用し、外から入口を吸塵した後、作業場所へ入る。 ② 入口より奥に向かって右幅木側・中央部・机の下へと順に作業を行う。 ③ イスを手前に引き出し、机の下の吸塵を行い、元に戻す。 ④ ゴミ箱を持ち上げて(移動して)除塵する。 ⑤ 前進しながら吸塵作業をする。 ⑥ 作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。	・ ゴミを踏まないように広めに足場を確保する。 ・ 吸い込み口を床に強く打ちつけない。 ・ 本体は手で持って移動する。 ・ プラグを持って抜く(掃除機のコードを持って抜かない)。	ゴミはシュレッダーで裁断したものを 50ml 程度まいている。
点検	指差し又は目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しがないか点検を行う。	声を出さないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片付け	掃除機のコードを巻いて、掃除機を保管場所に戻す。		
競技終了の挨拶	所定の位置に立ち、競技終了の挨拶を行う。	「終わりました」、「終了しました」等の意思表示を行う。	作業終了の申告をする。

課題2 弾性床清掃及び机上清掃

時間：10分

作業仕様

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと) ① モップ柄の長さを調整する。 ② ダスタークロスをヘッドに装着する。	資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い作業準備に入る。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、競技開始の申し出をする。	「始めます」と片手を挙げ開始の宣言をし、礼をする。	作業開始を申告する。
作業準備	① 作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動する。 ② 作業標示板を指定箇所に正しく立てる。		
入室の挨拶	入り口にて室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼、挨拶し入室する。	声を出して申告する。
イス上げとゴミ処理 (1) イスを上げる (2) ゴミ回収 (3) ゴミ袋のセット	①作業前にイスを机の上にあげる。 ②ゴミ箱にセットされているゴミ袋ごと処理する。 ③ゴミ袋を出口においてあるカートゴミ袋に入れる。 ④ゴミ袋のスペア袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机の上に上げる。	・ 机は動かさない。 ・ イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。 ・ ビニール袋を正しくセットする。 ・ ゴミ箱は、机からはみ出さないように正しくのせる。	
除塵作業 (掃き作業)	①乾式モップヘッドを柄に装着し、外から入り口を除塵し、作業場所へ入る。 ②入り口より奥に向かって右幅木側・幅木側・机の下・中央部へと順に作業を行う。 ③前進しながら出口に向かって1か所に集める。 ④ヘッドをワンタッチモップ柄から外す。 ⑤使用済みのダスタークロスをヘッドから外す。 ⑥柄とヘッドをカートに戻す。 ⑦小ぼうきと文化ちり取りを持って集めたゴミをとる。 ⑧ゴミの取り残しがないか点検する。 ⑨小ぼうき、文化ちり取りをカートに収める。	・ ゴミを踏まないよう足場を確保する。 ・ ヘッドの辺は広い方を先行させる(赤印をつけてある)。 ・ ヘッドを床から離さない。 ・ クロスは汚れ面を内側に折りたたむ。 ・ 使用済みクロスはカートの袋の中に入れる。 ・ ゴミの取り残しがあれば小ぼうきと文化ちり取りでゴミを取り除く。 ・ ヘッドは、カートの上部へ邪魔にならないように置く。 ・ ヘッドはスポンジ面を上にして置く。	ゴミはおがくずを50ml程度、均等にまいている。 点検の際に声を出さないこと。 小ぼうきは反して使わないこと。

水拭き作業 (モップ)	① モップを持って移動し、コート全面積を拭く。 ② 幅木側、机の下、中央部の順に拭く。 ③ コーナー周りとも机の足元は房糸が触れないよう、房糸に手を添えて拭く。 ④ モップは時々裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤ モップは横拭きとし、後退しながら拭く。 ⑥ 使用したモップをカートへ戻す。	・ 拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・ 横拭きは柄の先端に親指を添えて行う。 ・ 拭いたところを踏まないようにする。	
ゴミ箱とイスを下ろす	安全に音を立てないようにおろす。	足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	① 青色のタオルを八折にして持つ。 ② 机の縁を含めて、四隅から中央へ行う。 ③ タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 ④ 横拭き・縦拭きを行う。 ⑤ 机の上を水拭きした後に白色のタオルでから拭きを行う。 ⑥ から拭きも水拭きと同様に作業を行う。	拭き残し、拭きむらのないようにする。	
点検	指差し及び目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	点検の際に声を出さないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片付け	① 作業標示板を作業カートに戻す。 ② 作業カートを保管場所に戻す。	元の位置に戻す。	
競技終了の挨拶	所定の位置に立ち、競技終了挨拶を行う。	「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

◎資機材一覧表

1. 各競技場に準備されているもの（作業面１面あたり）

（１）課題１

品名	寸法または規格	数量	備考
真空掃除機	ポット型 リンレイＲＤ２型	１台	
机		１台	
イス	パイプ式折りたたみ	１脚	
ゴミ箱		１個	

（２）課題２

品名	寸法または規格	数量	備考
作業用カート		１台	
作業標示板		１個	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	１本	
ラーグ（モップ房）	２６０g	１枚	
小型ぼうき	３０cm幅用	１本	
文化ちり取り		１個	
乾式モップヘッド	６３cm	１本	
タオル（無地）	水拭き用（青色）１枚 から拭き用（白色）１枚	計２枚	
ダスタークロス	６９cm幅の不織布	１枚	
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	１枚	
机		１台	
イス	パイプ式折りたたみ	１脚	
ゴミ箱	空ペットボトルが捨ててある	１個	

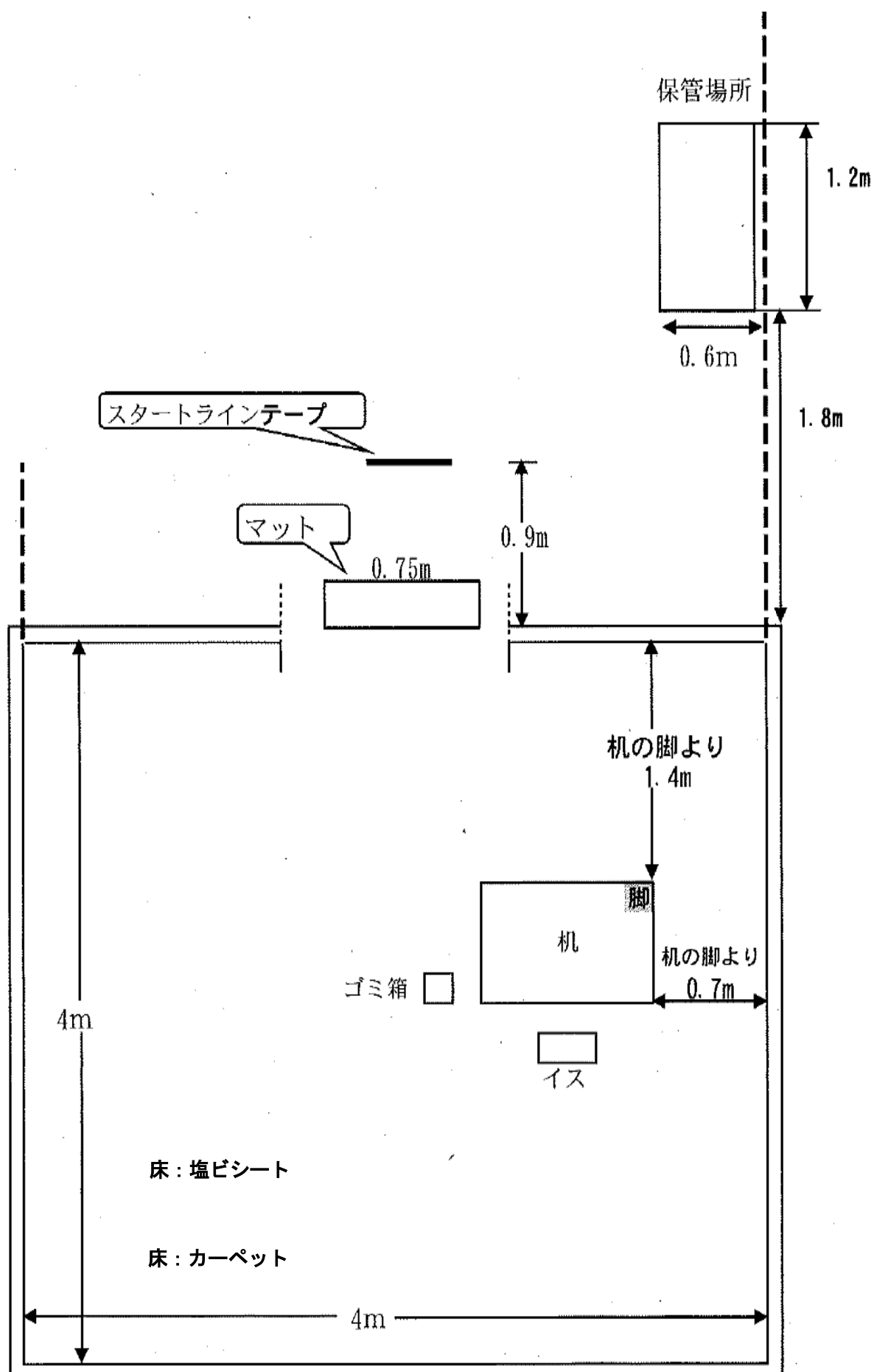
2. 競技者本人が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業着（上・下）		1 着	
作業帽又は三角巾		1 個	
作業靴		1 足	
マスク	競技中の着用は不要ですが、感染症 拡大防止のため、必要に応じて着用 すること。		

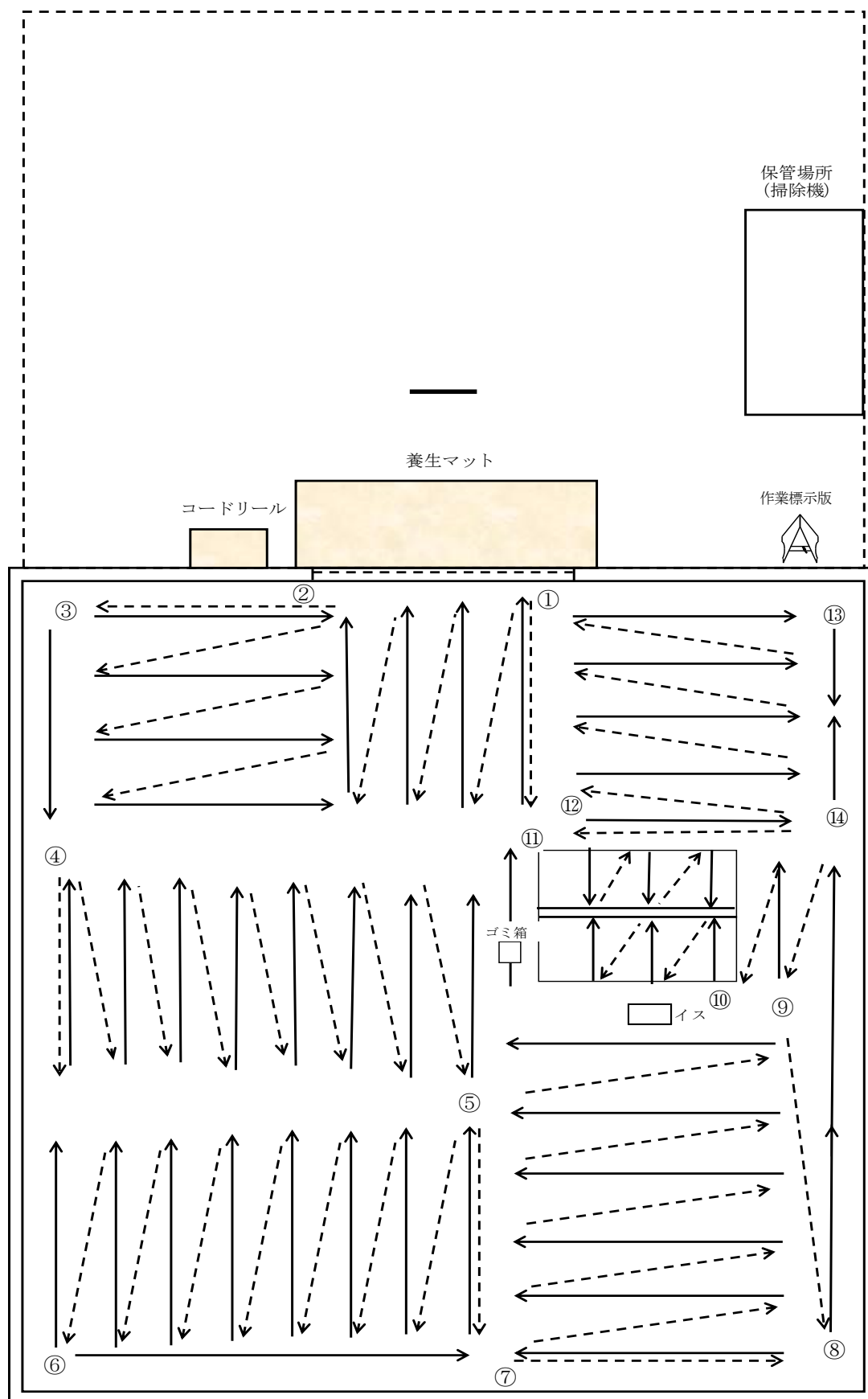
（注意）

持参するものは、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。

標準配置図 (モデル)



カーペット床作業手順



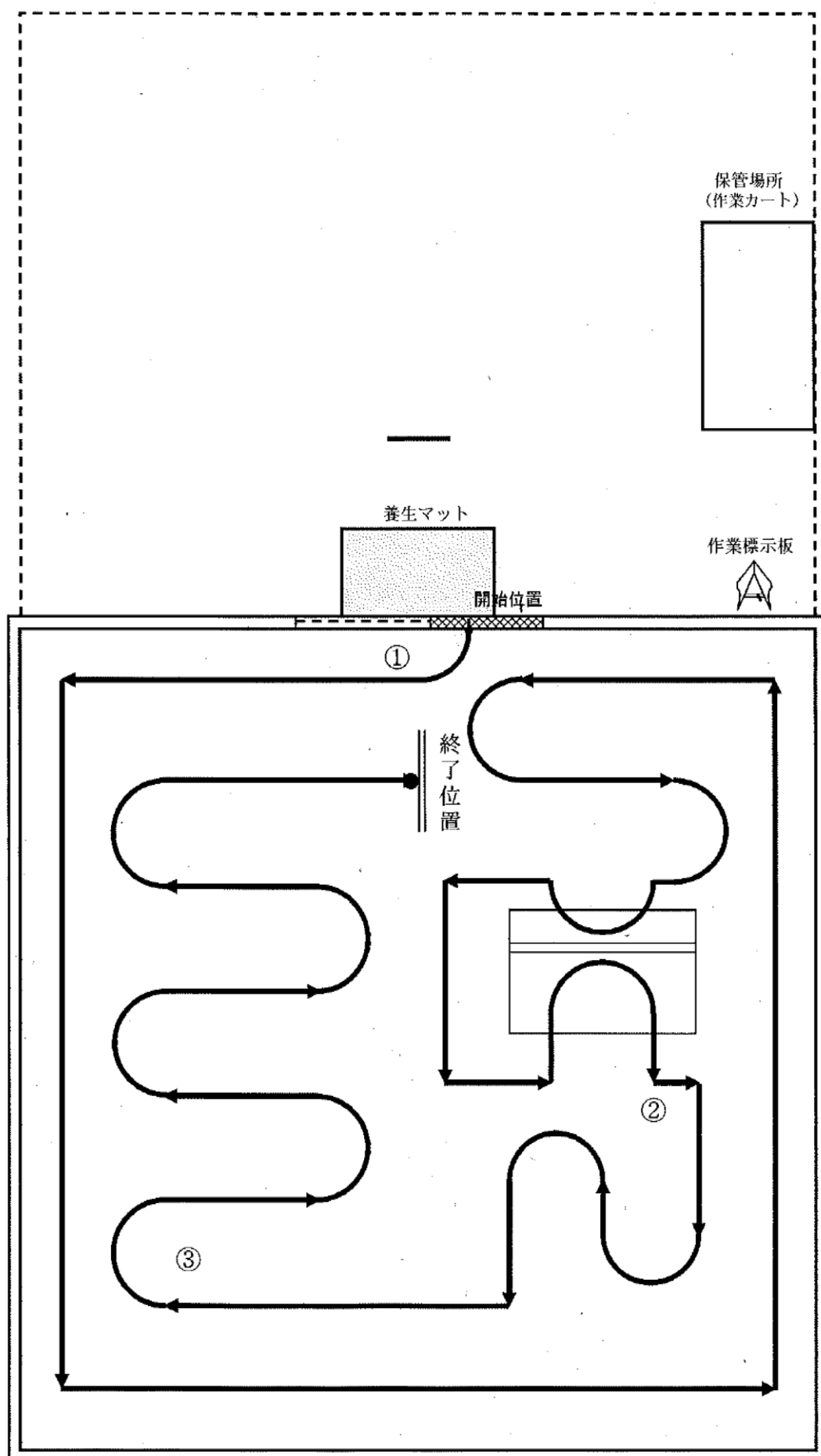
注：作業の進行①－⑭

吸引回数を入れたものではありません。

①の作業を一回の行程でできない場合は、真ん中で二度に分けても構いません。

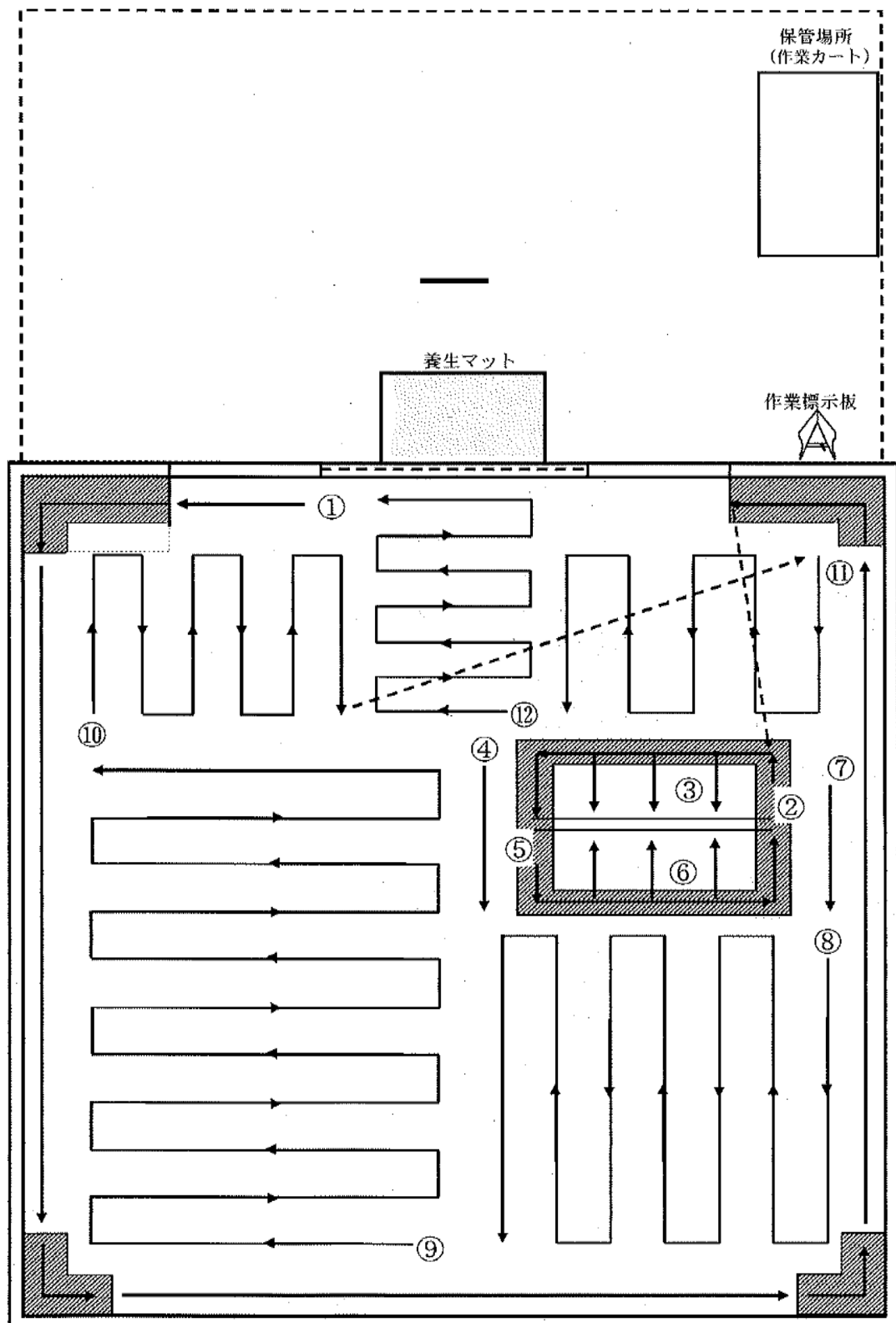
ゴミ箱の下を作業する際は、ゴミ箱を移動し、確実に吸引する。

乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

水拭きモップ作業手順



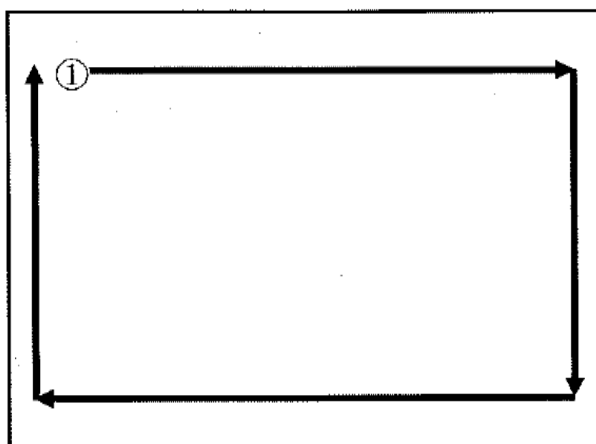
注：■印は手を添える箇所を示す。

水拭き回数を入れたものではない。スパンを決めて拭き上げる。

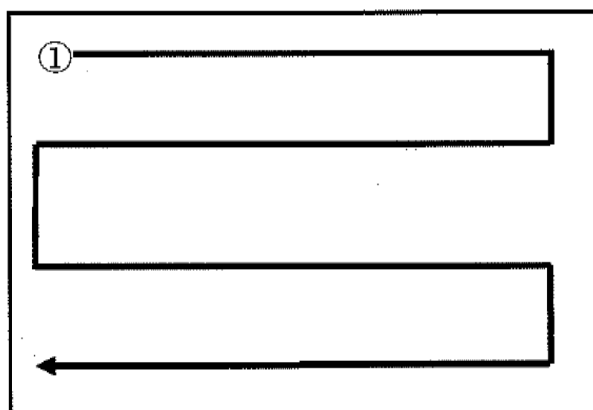
①巾木側を1周すること。（コーナーは手を添えて）

机の足回りを拭き、机の下を拭く。（足回りについては手を添えて）

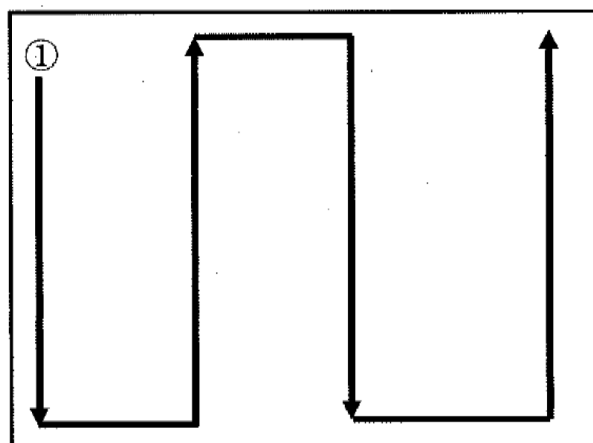
机上拭き作業手順



①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。